

みなみ  
ネット  
kagoshima  
local  
network

総局支局  
電話番号

身近なニュー  
ス、催し物な  
ど情報をお寄  
せください

薩摩川内  
0996

23-2009  
FAX 25-0778

奄美  
(徳之島)

0997  
52-0432  
FAX 52-2947

指宿  
0993

22-3050  
FAX 24-4463

枕崎  
0993

72-0245  
FAX 72-1820

南九州市川辺の勝目麓を23日、昔ながらの嫁入り行列が練り歩いた。旧街道沿いに点在する昭和の洋館を活用したイベント「和(なごみ)レトロ・モダン」の企画の一つ。新郎新婦は新型コロナウイルスを挙げられなかったカップルで、来場者らの祝福を受けた。地元の宝を再発見する催しとして「カツメの嫁入り行列」を組み入れた。主役は南さつま市加世田の中村友祐さん(38)、育美さん(40)夫妻。育美さんは勝目出身で、会場となった旧椎原医院と同じ医療法人でケアワーカーとして働く。職場結婚の二人は5年前に婚姻届を出した。神主と巫女役の子どもたちに先導された行列は雨の中、勝目地区公民館から同医院横の椎原氏邸まで約200メートルを静々と進行。紋付きはかま姿の親族ら、古式ゆかしい一行に沿道から盛んな拍手が贈られた。

川辺・勝目麓

古式ゆかし嫁入り行列 旧街道の洋館を活用



⑤祝福を受け昭和の街並みを歩くカツメの嫁入り行列⑥式を終え記念撮影に納まるカツメの嫁入り行列=23日、南九州市川辺町中山田



りきれい。両親に晴れ姿を見せてあげられてよかった」と話した。着付けを担った地元の文化美容室先代店主、有水サチ子さん(86)は「かつては年に百人以上は着付けていたが、最近はあまりない。久しぶりにきれいな花嫁さんができたと目を細めた。(下栗淳也)

霧島市福岡町佳例川の敷昌神社で23日、お田植え祭があった。新型コロナウイルスの影響で神事のみ実施していたが、5年ぶりにイベントが復活。地区内外

福山・佳例川お田植え祭

の児童や、地域活性化を応援する鹿児島大学の学生らも参加し

ウナギ追いかけ歓喜

神事後、早乙女姿の鹿火生と福山高校生らが近くの神田で手植え。その後ウナギ50匹が放



た。児童らが泥まみれになり追いかけた。牧之原小学校4年の天川(あまかわ)美虹衣(みにい)さんと羽虹衣(はにい)さん姉妹は「つるつるで楽しかった。何匹も取れてうれしい」と笑顔を見せた。

佳例川は稲作の長い歴史を持つ「米づくり千年の里」。お田植

霧島市民



①日本語での会話を楽しむ参加者②日本リレーションを通じ、親睦を深めた地域=霧

感じる場所。い。パキスタ社員サイド、ん22は「毎週い」と満足そう本田代表はに参加でき、姉場所をつくりたいで続けてい外国出身の方々らしやすいまち活動していきえを話した。